

マニフェスト工程計画

3つの基本理念・10の戦略・42の提案

自己評価表

(令和3年7月)

基本理念 1 暮らしやすさ第一豊川市

基本理念 2 子育て豊川応援団

基本理念 3 市民と創る協働と健全財政のまち

元気なとよかわ 子育てにやさしく 人が集うまち



1 マニフェスト工程計画自己評価表について

このマニフェスト工程計画自己評価表（令和3年7月）は、令和2年2月に発表したマニフェスト工程計画について、令和2年度までの実施状況や本年度の取組内容を明らかにするとともに、事業によって得られる成果や工程計画に対する事業の進捗を踏まえて、市長が自己評価をしたものです。

2 自己評価評点について

自己評価の評点については、概ね下記の基準としています。

点数	基準
5	工程計画を実行し、事業の完了または目的達成
4	工程計画より早い又は内容（効果）を超えた事業の進捗
3	工程計画どおりの事業の進捗
2	工程計画より遅い又は内容に満たない事業の進捗
1	工程計画よりかなり遅い又は内容に満たない事業の進捗

また、基本理念ごとに配点を下記のように定め、合計が100点になるように調整して合計点を算出しています。

基本理念	配点
1 暮らしやすさ第一豊川市	40点
2 子育て豊川応援団	30点
3 市民と創る協働と健全財政のまち	30点

3 マニフェスト項目別評点一覧

総合評点		
R3	R4	R5
68/100点	/100点	/100点

基本理念1 暮らしやすさ第一豊川市

毎年1,000人の社会増を目指す

R3	R4	R5
25/40点	/40点	/40点



戦略1 雇用の創出など人口増施策【人口増】

	R3 評点	R4 評点	R5 評点
提案1 商業施設誘致も含めた八幡地区まちづくりの推進	4		
提案2 愛知御津駅橋上化建設整備	3		
提案3 新規工業団地整備	2		
提案4 市長自らによる企業誘致トップセールス	1		
提案5 市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲	3		

戦略2 活みなぎる元気なまち【産業・観光】

提案6 商工会議所・商工会・農協と連携した産業支援	4
提案7 既存商業者に対する新規支援事業の創設	3
提案8 創業・起業支援事業の拡充	3
提案9 バラを始め豊川ブランドの全国PR	3
提案10 観光・シティセールスの推進	3

戦略3 市民の安全・安心を守る

【安全・安心・基盤整備】

提案11 消防署本署の建替	3
提案12 防災行政無線の更新	3
提案13 市民ニーズ調査による防犯カメラ設置	4
提案14 高齢ドライバー後付け安全装置への助成	5

	R3 評点	R4 評点	R5 評点
提案15 通学路危険箇所の一斉点検と安全対策	3		
提案16 ストリートデザインマネジメントの推進	3		
提案17 町内会要望等住民密着予算の拡充	4		

戦略4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

【文化・スポーツ】

提案18 桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」リニューアル改修	4
提案19 地域間(ゆかりのある自治体)交流の推進	3
提案20 テニスコート12面を含めた豊川公園の再整備	4
提案21 リレーマラソン等おもてなし事業の拡充	1

★愛知県の人口動向統計による人口増減推移 (人)

	R1	R2	R3	R4
人口	183,930	184,022		
自然増減	—	▲355		
社会増減	—	447		
合計増減	—	92		

※人口は各年10月1日現在

R2…令和2年11月13日発表(令和元年10月1日～令和2年9月30日)数値

R3…令和3年11月発表予定(令和2年10月1日～令和3年9月30日)数値

R4…令和4年11月発表予定(令和3年10月1日～令和4年9月30日)数値

基本理念2 子育て豊川応援団

日本一子育てしやすいまち

R3	R4	R5
23/30点	/30点	/30点



戦略5 子育て世代を全力で応援【子育て支援】

R3 評点 R4 評点 R5 評点

提案22	高校3年生世代までの入院医療費無料化	5
提案23	民間も含めた保育園の計画的な建替整備	3
提案24	保育園の老朽化等危険遊具の早期改修	4
提案25	総合保健センター内に妊産婦ケアセンター創設	3

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

【教育】

提案26	小中学校学級運営支援員の拡充	4
提案27	外国籍児童生徒を対象としたこぎつね教室の拡充	4
提案28	地産地消の推進と「生きる力」を育む食育教育の充実	4

戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち

【健康福祉】

提案29	総合保健センター建設整備	3
提案30	運動器機能向上など介護予防事業の充実	4
提案31	シルバー人材センター事業への支援拡充	4
提案32	障がい者の積極的な採用計画	3
提案33	障がい者相談事業の拡充	4

基本理念3 市民と創る協働と健全財政のまち

市民が主役の市政を進める

R3	R4	R5
20/30点	/30点	/30点



戦略8 市民の主体的な活動を応援

【市民との協働】

- 提案34 消防団員・交通安全指導隊員等の処遇改善
- 提案35 町内会加入率低下対策プロジェクトの設置
- 提案36 ボランティア・NPOマンパワー養成事業

R3	R4	R5
評点	評点	評点

4

4

3

戦略9 みんなで行動する環境のまち【環境】

- 提案37 再生エネルギーの活用促進
- 提案38 パーク・アンド・ライドの推進
- 提案39 地域猫に対する補助制度創設

4

3

5

戦略10 行財政改革と健全財政の堅持

【行財政運営】

- 提案40 職員の意識改革と職員研修の充実
- 提案41 公共施設の安全性・機能向上と総量削減
- 提案42 一般会計市債残高の30億円削減

4

2

1

マニフェスト工程計画自己評価表の見方

令和2年2月公表の工程計画を記載しています。

基本理念 1 暮らしやすさ第一豊川市

提案 1

戦略1 雇用の創出など人口増施策

① 商業施設誘致も含めた八幡地区まちづくりの推進

提案	実施内容
1	商業施設周辺に係る交通の円滑化を図るために周辺道路を整備します。

担当：都市整備部八幡駅周辺地区まちづくり推進室、建設部道路建設課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
周辺道路の計画策定及び整備				
41.4	470.7	968.0	1081.4	100.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
道路改良延長				1,005	1,005	
交差点改良箇所数(篠栗町)						
	実績		3箇所	(2箇所)		
	目標		1式	1式	1式	1式
その他基盤施設検討	実績		1式	(1式)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況	令和2年度までに都市計画道路第14号線、第15号線の道路詳細設計を実施し、内1路線について用地買収を実施した。また、都市計画道路篠栗東野口線について、道路詳細設計を実施し、用地買収を実施した。
今年度以降の取組予定	令和2年度までの実施状況と、令和3年度以降の取組内容・方針を記載しています。
全ての路線について、令和4年度末の供用開始を目標として事業を進捗させる。令和3年度は市道蔵子白鳥線はじめ3路線の用地買収及び全路線の道路拡幅改良工事、交差点改良工事等を実施する。	

4. 評価

事業の成果等	0～5点の自己評価 点を記載しています。	
道路改良及び することができ	事業実施による令和2年度までの成果及び令和3年度 の予算措置などが記載されているとともに、事業の進 捗状況及び自己評価の内容を記載しています。	との協議が完了したため、道路改良工事に着手 することができ
進捗状況に対		
公安委員会等 に向けての渋滞対策等の目的が立ったと考える。	R3 R4 R5	4

戦略1 雇用の創出など人口増施策

① 商業施設誘致も含めた八幡地区まちづくりの推進

提案	実施内容
1	商業施設周辺に係る交通の円滑化を図るために周辺道路を整備します。

担当：都市整備部八幡駅周辺地区まちづくり推進室、建設部道路建設課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
周辺道路の計画策定及び整備				
41.4	470.7	968.0	1081.4	100.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
道路改良延長	目標			1,285m	1,625m	
	実績			(1,285m)		
交差点改良箇所数(篠東野口線)	目標		3箇所	2箇所		
	実績		3箇所	(2箇所)		
その他基盤施設検討	目標		1式	1式	1式	1式
	実績		1式	(1式)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度までに都市計画道路蔵子線はじめ4路線の道路詳細設計を実施し、内1路線について用地買収を実施した。また、都市計画道路篠東野口線について、道路詳細設計及び3箇所の交差点改良を実施した。
今年度以降の取組予定
全ての路線について、令和4年度末の供用開始を目標として事業を進捗させる。令和3年度は市道蔵子白鳥線はじめ3路線の用地買収及び全路線の道路拡幅改良工事、交差点改良工事等を実施する。

4. 評価

事業の成果等		
道路改良及び交差点改良において、課題となっていた公安委員会及び名古屋国道事務所との協議が完了したため、道路改良工事に着手することができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
公安委員会等との協議が完了し、道路拡幅に伴う地権者交渉も順調で、令和4年度末の大型商業施設オープンに向けての渋滞対策等の目途が立ったと考える。	R3	4
	R4	
	R5	

戦略 1 雇用の創出など人口増施策

② 愛知御津駅橋上化建設整備

提案	実施内容
2	愛知御津駅の橋上化整備を実施します。

担当：都市整備部都市計画課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
駅前広場用地測量設計 駅前広場用地測量設計 南北自由通路等設計 南北自由通路等設計 駅前広場用地・補償				
27.0	71.0	237.7	160.1	201.5

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
駅前広場の整備	目標	現況測量・基本設計	用地交渉	用地交渉	用地交渉	用地取得
	実績	現況測量・基本設計	用地交渉	(用地交渉)		
愛知御津駅の橋上化、自由通路整備に向けた鉄道事業者との調整	目標		概略設計		事業合意	工事協定
	実績		概略設計			
都市計画変更及び事業認可実施業務	目標			資料作成	実施	
	実績			(資料作成)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【駅前広場整備】 基本設計を行うとともに、用地取得に向け交渉を行った。一部用地については、スケジュールを前倒して、土地開発公社による用地先行取得を実施した。 【橋上化、自由通路整備】 鉄道事業者と連携し、基本計画調査(平成30年度)に続き、概略設計を行った。
今年度以降の取組予定
【駅前広場整備】 都市計画決定の変更を行うとともに、引き続き用地取得に向けた交渉を行う。 【橋上化、自由通路整備】 都市計画決定の変更を行うとともに、鉄道事業者との事業合意に向け、詳細な調整を行う。

4. 評価

事業の成果等		
具体的な整備内容の精査ができ、かつ順調に用地交渉ができており、鉄道事業者との事業合意に向けた調整を進めることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

③ 新規工業団地整備

担当：産業環境部企業立地推進課

2. 活動内容の目標と実績

3. 進捗状況

4. 評価

9

戦略1 雇用の創出など人口増施策

④ 市長自らによる企業誘致トップセールス

提案	実施内容
4	企業誘致に向けて、市長が各企業へトップセールスを随時実施します。

担当：産業環境部企業立地推進課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
情報交換会等でトップセールスを実施				
—	未定	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
市長自らによる企業誘致トップセールス実施回数	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		0回	(2回)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度から、企業に対するPRの場として東京と大阪で行われる愛知県主催の産業立地セミナーや、豊川市企業立地情報交換会における市長自らのプレゼンテーションを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となったため実施できなかった。
今年度以降の取組予定
新型コロナウイルス感染症拡大の状況を勘案しながら、愛知県主催のセミナー等へ積極的に参加し、市長自ら企業誘致プレゼンテーションを実施する。

4. 評価

事業の成果等		
令和2年度は企業に対するPRの場が中止となったため、トップセールスを実施できなかった。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
新型コロナウイルス感染症収束後を見据えて、トップセールスに取り組む。	R3	1
	R4	
	R5	

戦略1 雇用の創出など人口増施策

⑤ 市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲

提案	実施内容
5	未活用地となった市有地を売却します。

担当：総務部財産管理課、建設部建築課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

[illegible]

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
未活用用地となった市有地の売却	目標		測量	鑑定・売却等	売却等	売却等
	実績		測量	(鑑定・売却等)		
みなと住宅移転・解体・売却	目標	移転督励・解体	解体工事	跡地整備等	鑑定	売却等
	実績	移転督励・解体	解体工事	(跡地整備等)		
萩住宅移転・解体・売却	目標	移転督励	移転督励・解体	移転督励・解体	解体工事	跡地整備等
	実績	移転督励	移転督励・解体	(移転督励・解体)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【市有地の売却】 売却に向けての測量等を実施(御津日暮、諏訪、本野ヶ原、八幡)するとともに、令和3年度以降の売却に向けた準備を整えた。 【市営住宅の入居者移転・解体工事】 みなと住宅において、令和2年度に全戸の移転・退去と全棟の解体が終了した。萩住宅においては移転督励を進め、令和元年度は6戸の移転・退去、令和2年度は8戸の移転・退去等と4棟の解体に至った。
今年度以降の取組予定
【市有地の売却】 売却に向けて看板作成等を行うとともに、不動産鑑定や測量を進捗させる。 【市営住宅の入居者移転・解体工事】 みなと住宅跡地については跡地整備等を行い、順次売却に向けて鑑定等を行う。萩住宅については令和3年度は1棟を解体し、残る全8戸に対する移転督励と残置物件1戸の処理を進めながら、解体を順次実施する。

4. 評価

事業の成果等		
順調に入居者移転補償、解体工事が行われているとともに、市有地売却の準備を進めることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

戦略 2 活みなぎる元気なまち

① 商工会議所・商工会・農協と連携した産業支援

提案	実施内容
6	各種経済団体と連携して、産業支援のあり方を検討するとともに、農業の生産性向上に資する取り組みを実施する。

担当：産業環境部商工観光課、農務課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討 産業支援あり方検討会の開催 調査・検討 農業生産性向上支援対策事業の実施				
	—	5.0	5.0	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
産業支援あり方検討会の実施回数	目標			2回	2回	2回
	実績			(2回)		
先端技術導入補助件数	目標			38件	38件	
	実績			(38件)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【産業支援あり方検討会】 商工会議所のにぎわい創出委員会に参加し、今後の支援施策などの方向性などを検討した。 【農業生産性向上支援対策事業】 本市の農業において効果が高いと見込まれる先端技術を精査するとともに、ひまわり農業協同組合で実施している生産支援事業とあわせて補助ができるよう、ICT技術を活用した先端技術導入に係る費用補助制度を構築した。
今年度以降の取組予定
【産業支援あり方検討会】 各種経済団体等と連携しながら、産業支援あり方検討会を開催し、今後の産業支援のあり方を検討する。 【農業生産性向上支援対策事業】 就農者確保対策事業として先端技術導入費補助制度を創設する。

4. 評価

事業の成果等		
産業支援あり方検討会開催の目途を立てることができたとともに、スマート農業の推進による生産性向上に資する就農者確保対策事業を開始することができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
農協との連携に関しては、先端技術導入費補助により、作業の省力化、人手不足の解消に一定の効果があると評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

戦略 2 活みなぎる元気なまち

② 既存商業者に対する新規支援事業の創設

提案	実施内容
7	既存商業者に対する新たな支援事業を創設します。

担当：産業環境部商工観光課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業内容の検討 新規支援事業の実施				
	—	—	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新たな支援事業の検討、実施	目標		調査・検討	調査・検討	実施	実施
	実績		実施検討	(実施検討)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
商工会議所における「にぎわい創出委員会」等において意見交換を行い、支援内容の検討を行った。
今年度以降の取組予定
引き続き、商工会議所等と調整しながら支援事業の制度設計を行い、令和4年度の事業実施を目指す。

4. 評価

事業の成果等		
にぎわい創出委員会等における意見交換を通じて、支援事業の概要など制度の方向性を確認するなど、新たな支援事業の構築に向けた準備を進めることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

戦略2 活気みなぎる元気なまち

③ 創業・起業支援事業の拡充

提案	実施内容
8	創業機運の醸成を図る事業を検討及び実施するとともに、中心市街地等における空き家見学ツアーを実施します。

担当：産業環境部商工観光課、都市整備部都市計画課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

[illegible]

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
創業機運、醸成事業	目標		調査・検討	調査・検討	実施	実施
	実績		調査検討	(調査検討)		
空き家見学ツアーの実施回数	目標	調査検討	2回	2回	2回	2回
	実績	調査検討	1回	(2回)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【創業機運、醸成事業の実施】 創業者へのヒアリングを行い、試験的に創業ミニ勉強会を開催した。 【空き家見学ツアーの実施】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により予定回数の実施には至らなかったものの、令和2年度に空き家見学ツアーを諏訪地区で1回実施した。
今年度以降の取組予定
【創業機運、醸成事業の実施】 引き続きニーズ把握等の調査を行うとともに制度設計を行い、令和4年度の事業実施を目指す。 【空き家見学ツアーの実施】 諏訪地区で各年度2回実施する。なお、実施においては、各年度の早い時期に行い、年度内に遊休不動産の利活用に繋げていく。

4. 評価

事業の成果等		
創業機運、醸成事業については、ヒアリングやミニ勉強会を行うことにより、制度設計のための参考情報を収集できている。また、空き家見学ツアーについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、遊休不動産の利活用にまで至ることはできなかったものの、空き家の活用に向けた取組を進めることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

④ バラを始め豊川ブランドの全国PR

担当：産業環境部農務課、商工観光課

2. 活動内容の目標と実績

3. 進捗状況

4. 評価

15

戦略2 活気みなぎる元気なまち

⑤ 観光・シティセールスの推進

提案	実施内容
10	とよかわブランドに認定されている集客力の高い赤塚山公園の交流人口増加策等を目的とした再整備を行うとともに、都市圏プロモーションの拡充や、定住促進ガイドブックの作成、メディアリレーション活動強化事業を実施します。

担当：都市整備部公園緑地課、企画部秘書課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討				
40.4	66.1	242.1	217.7	82.7

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
赤塚山公園再整備	目標	基本計画	整備工事	整備工事	整備工事	整備工事
	実績	基本計画	整備工事	(整備工事)		
民間活力を導入した赤塚山公園の運営	目標	導入可能性調査	公募事業者選定	覚書締結	施設整備	供用開始
	実績	導入可能性調査	公募事業者選定	(覚書締結)		
都市圏プロモーションの実施回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	0回	(2回)		
メディアリレーション活動強化事業	目標		検討・調査	実施	実施	実施
	実績		検討・調査	(実施)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【赤塚山公園再整備】 赤塚山公園の再生基本計画に基づき、駐車場不足を解消する第2駐車場再配置及び市民のスクエア休憩スペースの整備工事を実施した。また、公園利用者が要望の多い民間活力を導入とした飲食物販施設について、公募設置管理制度を活用した公募により民間事業者を選定した。 【都市圏プロモーション拡充等】 都市圏プロモーションは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、実施できなかった。また、定住促進ガイドブック及びメディアリレーション活動強化事業については、先進団体等から情報収集を行った。
今年度以降の取組予定
【赤塚山公園再整備】 最も利用者の多い中池エリアにおいて、第1駐車場再配置及びさらなる魅力と利便性の向上を目的とした水遊び機能の充実、休憩スペースの充実を目的とした整備工事を実施する。また、民間活力の導入により公園利用者へ新たなサービス提供を行うための広場整備工事を実施する。 【都市圏プロモーション拡充等】 都市圏プロモーション等を実施するとともに、メディアリレーション活動強化事業において、定住促進ブランドサイトを構築し、SNS広告、イベント等により周知を図る。併せて、定住促進ガイドブックを作成する。

4. 評価

事業の成果等		
赤塚山公園再整備では、第2駐車場再配置工事により、駐車台数86台から144台が確保されたことによって、市民のスクエアにおけるイベントなどによる満車が緩和され、あわせて、市民のスクエアの休憩スペースを確保したことによって、公園利用者の利便性が向上している。また、都市圏プロモーションは、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったものの、メディアリレーション活動強化事業は公募型プロポーザル方式により業者選定を行うなど、新たな定住促進の取組を進めることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部計画どおりに進捗できなかった部分はあるものの、概ね工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

① 消防署本署の建替

提案	実施内容
11	建設用地の選定を踏まえて消防署本署庁舎の建て替えを進めます。

担当：消防本部消防総務課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・研究の実施				
基本計画の策定				
基本設計及び実施設計の策定				
—	6.6	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
消防署本署の建替	目標	調査・研究	基本構想	基本計画	基本設計	実施設計
	実績	調査・研究	基本構想	(基本計画)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
豊川市消防署本署建設検討委員会を設置し、豊川市消防力適正配置検討委員会報告書を踏まえた「豊川市消防署本署庁舎整備基本構想」を策定した。
今年度以降の取組予定
基本構想を踏まえた「豊川市消防署本署庁舎整備基本計画」を策定するとともに、消防署本署建設に向けた準備を進める。今年度中に隣接用地の取得の可否を決定する必要がある。

4. 評価

事業の成果等		
通常災害及び大規模災害時において、効率的・効果的な消防力を発揮することができる施設を目指す基本計画の策定に着手できている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

② 防災行政無線の更新

提案	実施内容
12	防災情報伝達システムを更新します。

担当：企画部防災対策課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新システム整備				
				
14.8	734.7	716.4		

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
防災情報伝達システムの整備	目標	実施設計	整備委託	整備委託		
	実績	実施設計	整備委託	(整備委託)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和元年度に実施設計を完了し、令和2年度に、地域別に順次屋外スピーカの設置等の整備作業を実施した。
今年度以降の取組予定
令和3年度も引き続き整備作業を実施し、令和4年1月には全市域で新システムで運用を開始する。なお、新システムの機能の一つである防災アプリの運用は、令和3年6月から開始する。

4. 評価

事業の成果等		
希望者に貸与する新戸別受信機の更新配備が、機器の不具合により当初計画より若干遅れているものの、令和4年1月の新システム運用の目途を立てることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

③ 市民ニーズ調査による防犯カメラ設置

提案	実施内容
13	町内会による防犯カメラ設置に対する補助を拡充するとともに、市内の主要な幹線道路等に防犯カメラを設置します。

担当：市民部人権交通防犯課

1. 工程計画（下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位：百万円）

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
ニーズ調査				
補助率の拡充				
防犯カメラの設置				
2.0	6.4	6.7	6.7	6.7

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
防犯カメラ設置費補助事業の補助率	目標	80%	80%	90%	90%	90%
	実績	80%	80%	(90%)		
市内幹線道路等への防犯カメラ設置台数	目標		50台	保守・活用	保守・活用	保守・活用
	実績		50台	(保守・活用)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【防犯カメラ設置に対する補助の拡充】 連区及び町内会に対するニーズ等を把握するアンケートを通じて補助率の拡充を検討し、令和3年度から補助率を90%に拡充する制度を構築した。 【市内幹線道路等への防犯カメラ設置】 市内の主要交差点に41台及び防犯カメラ未設置の公共自転車駐車場に9台、計50台の防犯カメラを設置した。
今年度以降の取組予定
【防犯カメラ設置に対する補助の拡充】 サンセット方式により令和3年度から令和5年度まで補助率90%とし、3か年で、防犯活動を行う連区及び町内会への支援を集中的に実施する。 【市内幹線道路等への防犯カメラ設置】 適切な保守に努め、犯罪発生時などに警察から防犯カメラ録画情報の提供を求められた場合は、すみやかに提供を行う。

4. 評価

事業の成果等		
町内会ニーズに基づく補助率の拡充実施を開始し、かつ、市内幹線道路等への防犯カメラ設置を実施したことにより、犯罪抑止力を向上させることができている。		
進捗状況に対する自己評価（評点）		
令和3年度から補助率の拡充実施を開始することができ、かつ、令和2年度に市内における防犯カメラの設置台数を増加させることができ、安心・安全な暮らしの向上に一定の成果を上げていると評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

④ 高齢ドライバー後付け安全装置への助成

提案	実施内容
14	高齢ドライバー後付け安全運転支援装置設置費補助を実施します。

担当：市民部人権交通防犯課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討・調整 安全運転支援装置設置費補助の実施 				
—	6.0	7.2	7.2	

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
安全運転支援装置補助件数	目標		100台	100台	100台	
	実績		115台	(100台)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
高齢運転者の踏み間違いを防止する、後付け安全運転支援装置設置に対する補助事業を令和2年度から開始した。
今年度以降の取組予定
サンセット方式により令和2年度から令和4年度まで補助を実施し、自動車を運転する高齢者への支援を集中的に実施する。

4. 評価

事業の成果等		
目標値を超える補助件数となっており、安全運転支援装置の設置を促進できている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和2年度に補助制度を創設した。	R3	5
	R4	
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

⑤ 通学路危険個所の一斉点検と安全対策

提案	実施内容
15	通学路における一斉点検や安全対策事業を行います。

担当：建設部道路河川管理課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討・調整 通学路危険個所の点検会議の開催、安全対策事業の実施 				
—	6.6	6.7	6.7	

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
豊川市通学路安全推進会議の実施回数	目標		3回	3回	3回	
	実績		3回	(3回)		
安全対策事業(カラー舗装)の実施校区数	目標		2校区	2校区	2校区	
	実績		2校区	(2校区)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
豊川市通学路安全推進会議を開催し、会議の中で挙げられた危険個所におけるガードレールの設置、区画線の設置等を実施した。また、小学校2校区において、学校との調整に基づき、必要箇所にカラー舗装を実施した。
今年度以降の取組予定
豊川市通学路安全推進会議において、PDCAサイクル(合同点検に基づく対策の検討、対策の実施、対策効果の把握、対策の改善・充実)を繰り返し実施し、計画的に交通安全対策の強化を進めるとともに、カラー舗装も順次実施する。

4. 評価

事業の成果等		
通学路の安全性向上を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和2年度から事業を開始することができ、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

⑥ ストリートデザインマネジメントの推進

提案	実施内容
16	桜町千両線において自転車歩行者道やベンチ等の設置を行い、市民が親しめる歩行者空間の整備を行うとともに、市内主要幹線道路等における無電柱化の推進を図ります。

担当：建設部道路建設課、都市整備部都市計画課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
自転車歩行者道の整備				
ベンチ等整備				
調査				
可能性調査委託				
推進計画				
概略設計				
71.2	64.1	115.5	90.5	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
桜町千両線道路改良延長(自転車歩行者道の整備)	目標	320m	用地買収・物件補償	480m	400m	
	実績	320m	用地買収・物件補償	(480m)		
無電柱化の推進	目標		調査検討	調査検討	計画策定	予備設計
	実績		調査検討	(調査検討)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【桜町千両線自転車歩行者道整備】 道路改良延長320mと用地買収・物件補償を終えた。また、道路改良工事施工済み箇所において、ベンチ、照明灯の設置及び桜の植樹を実施した。 【無電柱化の推進】 無電柱化推進計画を策定している先進市の調査等を行い、併せて県道国府馬場線の無電柱化について愛知県へ要望を行った。
今年度以降の取組予定
【桜町千両線自転車歩行者道整備】 令和3年度に480m、令和4年度に400mの道路改良工事及びベンチ等の整備を実施する。 【無電柱化の推進】 無電柱化推進計画の策定に向けて引き続き調査等を行い、令和4年度に計画を策定する。

4. 評価

事業の成果等		
自転車歩行者道整備により、歩行者の交通安全性を高めることができるとともに、愛知県要望に基づき、県道国府馬場線の一部区間における無電柱化について愛知県が予備設計に着手するなど、事業を進捗させることができている。		
進捗状況に対する自己評価（評点）		
令和5年度に予定していたベンチ等整備について、道路改良工事施工済み箇所において前倒して実施した事業もあるが、概ね工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

⑦ 町内会要望等住民密着予算の拡充

担当：建設部道路建設課

2. 活動内容の目標と実績

3. 進捗状況

4. 評価

23

戦略 4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

① 桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」リニューアル改修

提案	実施内容
18	利用者の意見を踏まえて、桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」をリニューアル改修します。

担当：市民部文化振興課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討				
基本構想策定				
設計実施				
改修工事				
—	—	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」の改修	目標		基本設計	実施設計	改修工事	供用開始
	実績		基本設計	(実施設計)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度に、茶室利用者等からのアンケート結果をもとに、基本設計を行った。
今年度以降の取組予定
令和3年度に実施設計を行い、令和4年度に工事着工・完了、令和5年度中に供用開始予定である。

4. 評価

事業の成果等		
利用者等意見を取り入れた基本設計を作成し、実施設計に着手することができている。		
進捗状況に対する自己評価（評点）		
利用者アンケートに基づき、立礼席の整備を計画に盛り込むなど、使いやすい設計ができたことを評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

② 地域間（ゆかりのある自治体）交流の推進

担当：市民部文化振興課

2. 活動内容の目標と実績

3. 進捗状況

4. 評価

25

戦略4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

③ テニスコート12面を含めた豊川公園の再整備

提案	実施内容
20	市プール解体後の豊川公園の新たな活用に向けて再整備を実施します。

担当：教育委員会スポーツ課、都市整備部公園緑地課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

[illegible]

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
市プールの解体	目標	実施設計	解体撤去工事			
	実績	実施設計	解体撤去工事			
テニスコートの整備	目標		基本設計・実施設計	整備工事	整備工事	
	実績		基本設計・実施設計	(整備工事)		
豊川公園の再整備	目標		広場整備	広場・園路整備	広場整備	広場・駐車場・園路整備
	実績		広場整備	(広場・園路整備)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【市プール解体】 市プール及びこども広場の解体工事を実施した。 【テニスコート整備】 市プール跡地に整備される12面テニスコートの基本設計、実施設計を行った。 【豊川公園再整備】 こども広場の機能回復として、中央図書館前にこども広場の再整備工事に着手した。
今年度以降の取組予定
【テニスコート整備】 12面テニスコート及びクラブハウスの整備に着手し、令和4年度に工事完了予定である。 【豊川公園再整備】 令和3年度に、こども広場への遊具等の設置、陸上競技場及び市野球場の外周に約1kmのウォーキング、ランニングコースを整備する。なお、早期完成を目指し全体計画を見直す中で、令和4年度の「健康づくり広場等」と令和5年度の「芝生広場・駐車場整備」の工程を組み替える予定である。

4. 評価

事業の成果等		
市プール及びこども広場の解体工事を完了し、広場・園路等整備工事に着手できている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
規模の大きい各種大会が開催可能なテニスコート整備に着手できることを評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

戦略4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

④ リレーマラソン等おもてなし事業の拡充

提案	実施内容
21	リレーマラソン及びシティマラソンにおいて豊川産農産物をPRするとともに、「おもてなしブース」を拡充します。

担当：産業環境部農務課、商工観光課、教育委員会スポーツ課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

[illegible]

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
リレーマラソン・シティマラソン大会への出展回数(豊川産農産物のPR)	目標	1回	2回	2回	2回	2回
	実績	1回	0回	(2回)		
おもてなしブースにおける豊川いなり寿司教室の実施回数	目標	1回	2回	3回	3回	3回
	実績	1回	0回	(3回)		
シティマラソン大会ゲストランナーの招聘回数	目標		1回	1回	1回	1回
	実績		0回	(1回)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、リレーマラソン及びシティマラソン大会が中止となったため、すべての事業を実施できなかった。
今年度以降の取組予定
【豊川産農産物のPR】 リレーマラソン及びシティマラソン大会に出展し、バラを始めとした豊川産農産物をPRする。 【おもてなしブースの拡充】 リレーマラソン及びシティマラソン大会に出展し、来場者向けに豊川いなり寿司教室を実施する。 【ゲストラナー招致】 シティマラソン大会にゲストラナーを招聘する。

4. 評価

事業の成果等		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、すべての事業を実施できなかったものの、リレーマラソン及びシティマラソンの次年度以降の開催に向け、感染症対策を徹底した開催方法の検討を行うことはできている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画を実施できていない。	R3	1
	R4	
	R5	

戦略5 子育て世帯を全力で応援

① 高校3年生世代までの入院医療費無料化

提案	実施内容
22	入院に係る医療費保険診療分の自己負担額の全額助成を、高校3年生世代までに拡大します。

担当：福祉部保険年金課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討・調整				
入院医療費の無料化対象の拡大				
4.3	13.4	13.0	13.0	13.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
入院無料化の範囲	目標	中学卒まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで
	実績	中学卒まで	高校3年生世代まで	(高校3年生世代まで)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和元年度に制度設計、住民情報システム改修及び制度周知を行い、令和2年度から入院に係る医療費保険診療分の自己負担額の全額助成を高校3年生世代まで拡大し、計40件の利用があった。
今年度以降の取組予定
引き続き、高校3年生世代までの入院に係る医療費保険診療分の自己負担額の全額助成を実施し、制度の周知を行う。

4. 評価

事業の成果等		
入院に係る医療費保険診療分の自己負担額の全額助成を高校3年生世代まで拡大したことで、子育て世代の経済的負担を軽減することができている。		
進捗状況に対する自己評価（評点）		
令和2年度に高校3年生世代までの入院医療費無料化が実施できた。	R3	5
	R4	
	R5	

戦略5 子育て世帯を全力で応援

② 民間も含めた保育園の計画的な建替整備

提案	実施内容
23	保育園舎を整備する法人に対して、建設に係る費用を補助するとともに、老朽化した既存の公立保育所について、統廃合及び改築工事をを行います。

担当：子ども健康部保育課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

[illegible]

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
園舎改築工事等に対して補助する私立保育園数	目標	3園	1園	1園	1園	1園
	実績	3園	1園	(1園)		
園舎改築工事等を行う公立保育園数	目標	1園		1園		1園
	実績	1園		(1園)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【私立保育園】 令和元年度にさつき保育園の園舎新設工事及び中部保育園の園舎改築工事、令和元年度及び2年度にさくら保育園の園舎改築工事に対して整備費の補助を実施した。 【公立保育園】 令和元年度に一宮西部・大木保育園統合事業に伴う大木保育園の園舎改築工事、令和2年度に赤坂・長沢保育園統合事業に伴う音羽保育園(仮称)の園舎新設工事に係る実施設計業務を実施した。
今年度以降の取組予定
【私立保育園】 令和3年度に桜町保育園の園舎改築工事、令和3年度及び4年度に豊川北部保育園の園舎改築工事、令和4年度及び5年度に三蔵子保育園の園舎改築工事に対して整備費の補助を実施する。 【公立保育園】 令和3年度に赤坂・長沢保育園統合事業に伴う音羽保育園(仮称)の園舎新設工事、小坂井東保育園改築事業に伴う実施設計業務、令和4年度及び5年度に小坂井東保育園改築事業に伴う園舎改築工事を実施する。

4. 評価

事業の成果等		
園舎改築工事等の進捗により、子育て環境の向上が図られている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

戦略5 子育て世帯を全力で応援

③ 保育園の老朽化等危険遊具の早期改修

提案	実施内容
24	保育園の既存遊具の撤去・修繕及び新規遊具を設置します。

担当：子ども健康部保育課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討及び改修工事 改修工事				
12.9	21.0	9.6		

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
遊具整備を実施する保育園数	目標	4園	9園	6園		
	実績	4園	9園	(6園)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
「遊具の安全に関する基準」に基づく点検の結果、老朽化等により安全基準を満たさないこととなった遊具について、令和元年度に遊具配置計画を策定し、同年度に4園、令和2年度に9園の移設、撤去、新規設置を実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き遊具配置計画に基づき、遊具の移設、撤去、新規設置を実施する。

4. 評価

事業の成果等		
令和3年度完了に向けて改修工事等を進めることができており、保育の充実及び園児の安全性確保が図られている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
多くの利用不可遊具の解消に向けて整備が進んでいると評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

戦略5 子育て世帯を全力で応援

④ 総合保健センター内に妊産婦ケアセンター創設

提案	実施内容
25	多機能化が図られる総合保健センターの創設を見据え、産前産後のサポート体制を構築し、(仮称)妊産婦ケアセンターを運営します。

担当：子ども健康部保健センター

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討	妊産婦のニーズ把握	サポート体制の構築		
■■■ ■■■ ■■■ ■■■	> > > > > > > > > > > >	> > > > > > > > > > > >		
			(仮称)妊産婦ケアセンターの開設	
			> > > > > > > > > > > >	
—	8.5	8.5	26.6	25.5

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
産後ケア事業の利用人数	目標	10人	18人	40人	58人	58人
	実績	10人	35人	(40人)		
(仮称)妊産婦ケアセンター(妊産婦総合相談窓口)創設スケジュール	目標	調査・検討	ニーズ把握	サポート体制構築準備	創設	運営
	実績	調査・検討	アンケート等調査	(研修及び専門職確保)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況 【産前産後サポート体制の構築】 妊娠期から切れ目のない子育て支援の一つとして、平成30年度から実施している産後ケア事業については、宿泊型に加え、令和2年度にデイサービス型事業の実施を開始し、支援を充実させた。 【妊産婦ケアセンター（妊産婦総合相談窓口）創設】 産前も含めた切れ目のない支援のさらなる充実を図るための（仮称）妊産婦ケアセンター（妊産婦総合相談窓口）の創設に向けては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で先進地視察はできなかったものの、先進地の資料からの検討や近隣市町村の実施状況を調査し、かつ令和2年度に試行的に開始した出産おめでとうコールでの事業や産婦への相談支援を通して、必要な支援の把握に努めた。 今年度以降の取組予定
【産前産後サポート体制の構築】 産後ケア事業について、令和4年度にアウトリーチ型（訪問型）を実施し、産後早期の母親への支援を強化する。また、令和3年度には研修及び専門職の確保を行い、令和4年度から専門職を配置して授乳指導などの新たなサービスを開始する。 【妊産婦ケアセンター（妊産婦総合相談窓口）創設】 産前産後サポート体制の構築と併せ、令和4年度に創設する。

4. 評価

事業の成果等		
産後ケア事業の拡充に伴い利用人数は目標値を上回り、子育て負担の軽減を図ることができている。また、(仮称)妊産婦ケアセンター(妊産婦総合相談窓口)創設に向けて、準備を進めることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

① 小中学校学級運営支援員の拡充

提案	実施内容
26	小中学校の要望に基づき、必要とされる学級への支援員の配置を拡充します。

担当：教育委員会学校教育課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
学級運営支援員を増員				
54.3	61.9	72.3	77.5	82.7

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
学級運営支援員の人数	目標	74人	79人	84人	89人	94人
	実績	74人	79人	(84人)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和元年度74名のところ、令和2年度に5名増員した。
今年度以降の取組予定
令和5年度までに、各学校からの要望に基づき、毎年5名の増員配置を行う。

4. 評価

事業の成果等		
各学校から学級運営支援に対する要望が多く出ている中で、支援員の増員により学級の安定化を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
計画的な学級運営支援員の増員を評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

② 外国籍児童生徒を対象としたこぎつね教室の拡充

担当：市民部市民協働国際課

2. 活動内容の目標と実績

3. 進捗状況

4. 評価

33

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

③ 地産地消の推進と「生きる力」を育む食育教育の充実

提案	実施内容
28	食育事業を実施するとともに、学校給食において豊川産農産物の使用機会を増加します。

担当：教育委員会学校給食課、産業環境部農務課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討 食育事業の実施				
	0.2	0.9	1.6	2.4

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
食育事業の実施小学校数	目標			1校	2校	3校
	実績			(1校)		
学校給食における豊川産農産物の使用割合	目標	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上
	実績	10.25%	11.56%	(10%以上)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【食育事業】 新たな食育事業として、小学校において朝ごはんをテーマとした家庭科授業を行う事業の企画・調整を行った。 【学校給食における豊川産農産物の使用機会】 令和2年度に、一般青果業者に対して豊川産農産物納品調査を実施し、調査結果に基づく発注を行ったことにより、大幅に豊川産農産物の使用割合を向上させることができた。
今年度以降の取組予定
【食育事業】 令和3年度から、試験的にモデル校を選定して事業を実施し、朝ごはんについて考える機会を創出する。 【学校給食における豊川産農産物の使用機会】 豊川産農産物納品調査を継続し、使用回数、使用品目を増加させていく。

4. 評価

事業の成果等		
食育事業実施の準備が整い、また、学校給食における豊川農産物の使用割合の増加により、地産地消の推進を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和3年度からの食育事業の実施見込みを立てることができ、学校給食における豊川産農産物の使用割合の増加を評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち

① 総合保健センター建設整備

提案	実施内容
29	関係団体と調整を実施し、総合保健センター（仮称）を建設します。

担当：子ども健康部保健センター

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
関係団体との調整 基本構想・基本計画 基本設計 実施設計				
	16.4	21.0	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
総合保健センター(仮称)の建設スケジュール	目標		基本構想策定	基本計画策定	基本設計	実施設計
	実績		基本構想検討	(構想・計画策定)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、基本構想の策定作業が若干遅れ、完成が令和3年度にずれこんだ。
今年度以降の取組予定
関係機関と調整を図りつつ、令和3年度に基本計画を策定し、令和4年度に基本設計、令和5年度に実施設計を行う。

4. 評価

事業の成果等		
関係団体ヒアリング、利用者アンケート及び策定委員会の実施により基本構想を作成し、基本計画策定に着手できている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
基本構想の策定が若干遅れたものの、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち

② 運動器機能向上など介護予防事業の充実

提案	実施内容
30	介護予防サポーターステップアップ講座を開催し、リーダーを育成することにより地域の通いの場の充実・増加を図ります。

担当：福祉部介護高齢課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
介護予防サポーターステップアップ講座の実施				
34.6	38.1	38.1	38.1	38.1

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
介護予防事業	目標	実施	実施	実施	実施	実施
	実績	実施	実施	(実施)		
介護予防サポーターステップアップ講座の実施回数	目標		1回	1回	1回	1回
	実績		1回	(1回)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度から、各地域で住民主体の通いの場の立ち上げや運営を行う人材の育成のため、介護予防サポーター養成講座の受講者や学習サポーター経験者を対象に、活動するための知識や技術を学ぶ場として「介護予防サポーターステップアップ講座」を実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き、介護予防サポーターステップアップ講座を実施し、地域での住民主体の通いの場を創出、継続するための支援等を行う。

4. 評価

事業の成果等		
介護予防サポーターステップアップ講座を開催したことにより、受講修了者の一部は、地区の生活支援コーディネーター等と協力して新しい通いの場の創出や、既存の通い場の活動を継続できるようになってきている。自主的な通いの場は令和元年度に10か所であったものが、令和2年度は15か所に増加している。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和2年度から介護予防サポーターステップアップ講座を開催でき、通いの場の増加につながっていることから、効果的に事業を進捗させることができていると評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち

③ シルバー人材センター事業への支援拡充

提案	実施内容
31	シルバー人材センター事務局体制の強化や福利厚生の実施を図るとともに、高齢者世帯の日常的な生活支援に係る事業の実施を支援します。

担当：福祉部介護高齢課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事務局の体制強化及び福利厚生事業の充実 調査・検討 高齢者の生活支援に係る事業の実施				
29.2	31.5	33.0	33.0	33.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
シルバー人材センターの会員数	目標	1,050人	1,100人	1,150人	1,200人	1,250人
	実績	1,063人	1,124人	(1,154人)		
ちょこっとサポート事業の実施件数	目標			300件	300件	300件
	実績			(300件)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【事務局の体制強化及び福利厚生事業の充実】 会員の獲得や就業機会の増大に向けて、令和2年度に就業開拓及び事務局体制の強化のためのプロパー職員の採用と、会員の福利厚生事業である被服費に対する補助額を増額した。
今年度以降の取組予定
【事務局の体制強化及び福利厚生事業の充実】 会員の獲得や就業機会の増大のため、パート職員増加のための補助額を増加する等、引き続き事務局体制強化及び福利厚生の実施を支援する。 【高齢者の生活支援に係る事業の実施】 令和3年度に高齢者同士の支え合い及びシルバー人材センターへの就業支援として、高齢者世帯の日常的な生活支援を行うちよこっとサポート事業を委託で実施する。

4. 評価

事業の成果等		
シルバー人材センターのプロパー職員の採用等に係る補助額を増加したことで、高齢者の生きがい、就業機会創出の促進に寄与することができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和2年度から福利厚生事業の充実を図ることができ、また、令和3年度から事務局の体制強化及びちょこっとサポート事業を委託できたことを評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

④ 障がい者の積極的な採用計画

担当：企画部人事課

2. 活動内容の目標と実績

3. 進捗状況

4. 評価

38

戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち

⑤ 障がい者相談事業の拡充

提案	実施内容
33	障害者の相談支援体制の強化及び医療的ケアコーディネーターの活動に対する支援を行います。

担当：福祉部福祉課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討				
人材確保への支援				
相談支援体制の強化				
51.1	52.7	65.6	65.6	72.4

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
障害者相談支援従事者初任者研修受講費助成制度	目標		実施	実施	実施	実施
	実績		実施	(実施)		
基幹相談支援センターの正規職員数	目標	2人	2人	3人	3人	4人
	実績	2人	2人	(3人)		
医療的ケア児等コーディネーターの配置人数(委託)	目標			1人	1人	1人
	実績			(1人)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【人材確保への支援】 令和2年度から、新規に障害者相談支援従事者初任者研修の受講費助成制度を開始し、1法人に対して助成を行った。
今年度以降の取組予定
【人材確保への支援】 引き続き、障害者相談支援従事者初任者研修受講費助成制度を行う。 【相談支援体制の強化】 基幹相談支援センターの体制を強化するため正規職員を令和3年度に1名増員し、令和5年度にさらに1名を増員する。また、医療的ケア児等総合支援事業として、医療的ケア児等コーディネーターの配置等を委託する。

4. 評価

事業の成果等		
障害者相談支援体制等の充実により、障害者福祉の向上を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和2年度から人材確保支援に係る研修受講費助成制度を開始することができ、また、令和3年度から相談支援体制の強化のための人員増員ができたことを評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

戦略8 市民の主体的な活動を応援

① 消防団員・交通指導隊員等の処遇改善

提案	実施内容
34	消防団員の処遇改善(出動手当の拡充)、スポーツ推進委員の処遇改善(報酬額等の引き上げ)、交通安全指導隊員の処遇改善(活動支援費等の拡充)を行います。

担当：消防本部消防総務課、教育委員会スポーツ課、市民部人権交通防犯課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

[illegible]

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
消防団員の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	調査・検討	調査・検討	手当拡充
	実績	既存取組	調査・検討	(調査・検討)		
スポーツ推進委員報酬(委員／年額)	目標	—	—	60,000円	60,000円	60,000円
	実績	50,000円	50,000円	(60,000円)		
交通安全指導隊交付金(分隊割／年額)	目標	—	—	30,000円	30,000円	30,000円
	実績	20,000円	20,000円	(30,000円)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
各構成員に対する処遇改善(手当、報酬や支援の拡充)について、近隣市町村への調査やヒアリングにより、改善内容を検討した。
今年度以降の取組予定
【消防団員】 消防団員の活動に対する処遇改善の適切な手法について、引き続き、近隣市町村の状況や消防団の要望等を踏まえて、内容を検討する。 【スポーツ推進委員】 令和3年度より、報酬額を一律60,000円/年とする。(委員長は5,000円、副委員長は8,000円、委員は10,000円の増額) 【交通安全指導隊】 1分隊あたり30,000円/年、隊員1人あたり15,000円/年とする。(1分隊あたり10,000円、隊員1人あたり2,000円増額)

4. 評価

事業の成果等		
消防団員の処遇改善については引き続きその手法等を検討するものの、スポーツ推進委員と交通安全指導隊の処遇は改善し、活動強化を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和3年度からスポーツ推進委員と交通安全指導隊の処遇改善ができたことを評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

戦略8 市民の主体的な活動を応援

② 町内会加入率低下対策プロジェクトの設置

提案	実施内容
35	課題解決に意欲のある町内会にアドバイザーを派遣するとともに、庁内プロジェクトチームを設置し、町内会加入数増加に係る対策を実施します。

担当：市民部市民協働国際課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

[illegible]

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
町内会アドバイザーの派遣団体数	目標		2団体	2団体	2団体	2団体
	実績		4団体	(4団体)		
庁内プロジェクトチーム会議の開催回数	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		5回	(2回)		
(参考)町内会加入世帯数 ※各年度4月1日現在値		54,026世帯	54,135世帯	54,285世帯		
(参考)町内会加入率 ※各年度4月1日現在値		71.0%	70.0%	69.7%		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【町内会アドバイザー派遣事業】 4団体が参加し、専門家を交えての事前勉強会・検討会・地元協議を行い、町内会加入世帯の増加や役員のなり手不足解消に向けて、事務・行事等の効率化や地域交流の活性化のための課題の洗い出しと解決策の検討を行った。 【庁内プロジェクトチームの設置】 関係部署11課の職員からなる庁内プロジェクトチームを新設し、町内会運営の負担軽減と活性化を図るために、オンライン会議の活用マニュアルの作成と実施、町内会電子回覧版アプリ導入に向けた試験運用、市への提出書類の電子化等の取組を実施した。
今年度以降の取組予定
【町内会アドバイザー派遣事業】 昨年度から参加している4団体が引き続き課題解決に向けて検討を行い、実施にむけて準備や手順等を確認し実行する。 【庁内プロジェクトチームの設置】 引き続き、町内会加入率低下抑制を図るための施策検討を行う。

4. 評価

事業の成果等		
町内会加入率は、世帯数の増加により減少しているものの、町内会加入世帯数は徐々に増加し、減少幅を縮小させることができています。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和2年度から事業を開始することができ、新たな各種取組等と合わせ町内会等役員各位の協力により町内会加入世帯数の増加につながっており、町内会加入率の減少幅を縮小させることができています。	R3	4
	R4	
	R5	

戦略8 市民の主体的な活動を応援

③ ボランティア・NPOマンパワー養成事業

提案	実施内容
36	市内におけるボランティア活動に係る人材育成を目的として、各種講座の開催及びコーディネーター人材バンクの設置を行います。

担当：市民部市民協働国際課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施内容の検討	ボランティア・NPOマンパワー養成講座の実施			
実施内容の検討	コーディネーター養成講座の実施			
	コーディネーター人材バンクの設置			
若者ボランティア体験講座の実施				
0.2	0.3	0.3	0.4	0.4

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
ボランティア・NPOマンパワー養成講座の開催回数	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		2回	(2回)		
コーディネーター養成講座の開催回数	目標				1回	1回
	実績					
若者ボランティア体験講座の体験事業数	目標	26事業	26事業	27事業	27事業	28事業
	実績	26事業	16事業	(27事業)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【ボランティア・NPOマンパワー養成講座】「SNS活用術」と「チラシ・WEBデザイン」をテーマとした2講座を実施した。 【コーディネーター養成講座及び人材バンクの設置】先進地の事例検証を行った。 【若者ボランティア体験講座】若年層を対象とした、自分が行いたい事業を選択してボランティア活動を体験できる講座を実施した。なお、選択できる事業数のうち10事業が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった。
今年度以降の取組予定
【ボランティア・NPOマンパワー養成講座】毎年テーマを変えて開催し、ボランティア・市民活動団体の知識、技術の向上を図る。 【コーディネーター養成講座及び人材バンクの設置】引き続き実施内容の企画を検討し、令和4年度に養成講座を実施し、令和5年度に人材バンクの設置を行う。 【若者ボランティア体験講座】選択事業数を増加させ、参加者数の増加を図る。

4. 評価

事業の成果等		
令和2年度に新たに開始したボランティア・NPOマンパワー養成講座では延べ55名が、若者ボランティア体験講座では高校生・大学生の参加者54名の参加があり、ボランティア活動に対する関心度・参加意欲の高揚や、企画運営の自主性の向上を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

① 再生エネルギーの活用促進

担当：産業環境部環境課

2. 活動内容の目標と実績

3. 進捗状況

4. 評価

43

戦略9 みんなで行動する環境のまち

② パーク・アンド・ライドの推進

提案	実施内容
38	パークアンドライド推進のための調査を行い、公共駐車場の拡充整備等を実施します。

担当：都市整備部都市計画課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施内容の検討	パークアンドライド推進調査	愛知御津駅前公共駐車場の整備	公共駐車場IC等対応実施	
—	175.3	74.0	13.1	13.1

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
パークアンドライド推進に係る調査	目標	検討	調査委託			
	実績	検討	調査委託			
愛知御津駅前公共駐車場の整備	目標		用地取得	整備工事		
	実績		用地取得	(整備工事)		
公共駐車場IC等対応の実施	目標			検討調査	整備工事	検討調査
	実績			(検討調査)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【パークアンドライド推進調査】 調査検討委託を行い、事業推進の課題と取組の方向性の整理を行った。 【愛知御津駅前公共駐車場】 用地取得(2,469㎡)を行った。
今年度以降の取組予定
【愛知御津駅前公共駐車場】 令和3年度中に整備を行い、供用開始を目指す。 【公共駐車場IC等対応】 実施内容の検討・見積等を行い、現行機器の更新時期を勘案しながら整備及び継続検討を行う。愛知御津駅前公共駐車場については、IC対応精算機器にて整備を行う。

4. 評価

事業の成果等		
パークアンドライドに資する駐車場整備方針の判断材料の収集と、愛知御津駅前公共駐車場整備用地の取得を行い、整備に着手することができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	
	R5	

戦略9 みんなで行動する環境のまち

③ 地域猫に対する補助制度創設

提案	実施内容
39	クラウドファンディングによる支援者の確保を図り、地域猫に対する補助制度を創設します。

担当：産業環境部環境課

1. 工程計画（下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位：百万円）

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施内容の検討 クラウドファンディングの実施 補助				
—	0.1	1.0	1.0	1.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
クラウドファンディングによる寄付金額	目標		1,000,000円			
	実績		5,047,492円			
地域猫不妊去勢手術費補助件数	目標		100件	100件	100件	100件
	実績		188件	(100件)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【クラウドファンディング】メディアへの積極的PRを行ったことにより、全国の賛同者から、目標設定額の5倍以上の寄附を受けた。 【地域猫不妊去勢手術費補助制度】令和元年度までは、飼い主のいない猫による糞尿被害等の対応に苦慮していたが、寄附金を原資とした補助制度の構築により、効果的な対応を実施することができるようになった。また、本制度は市民の関心も高く、年度後半からの事業開始にも関わらず多くの問合せ・相談が寄せられ、当初目標に対し、約2倍近い補助件数となった。
今年度以降の取組予定
令和2年度に作成したPRポスター・PRチラシを地域に掲示依頼・配布することをはじめとして、事業内容の一層の周知を行うことで、飼い主のいない猫による糞尿被害等で困っている地域の解消を、市内全体に広げていく。

4. 評価

事業の成果等		
事業実施前は個人負担での地域猫活動に頼っていた面もあり、飼い主のいない猫による糞尿被害等の対策も一部地域に留まっていたが、補助制度の実施により、市内全体での被害の抑制を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価（評点）		
令和2年度にクラウドファンディングの実施及び同年度から補助制度の創設ができ、かつ、いずれも目標値を大幅に超える実績値となっていることから、効果的に事業を進捗させることができていると評価する。	R3	5
	R4	
	R5	

戦略10 行財政改革と健全財政の堅持

① 職員の意識改革と職員研修の充実

提案	実施内容
40	愛知県等への職員派遣の増員、政策立案等に関する研修、ハラスメント防止研修を行います。

担当：企画部人事課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	愛知県等への職員派遣の増員			
● ● ● ● ●	> > > > > >	> > > > > >	> > > > > >	> > > > > >
	実施内容の検討 政策立案研修の実施			
● ● ● ● ●	> > > > > >	> > > > > >	> > > > > >	> > > > > >
	ハラスメント防止研修の実施			
	> > > > > >	> > > > > >	> > > > > >	> > > > > >
—	0.5	0.9	0.9	0.9

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
愛知県への職員派遣人数	目標	2人	3人	3人	3人	3人
	実績	3人	3人	(4人)		
政策立案研修	目標		検討	1式	1式	1式
	実績		検討	(1式)		
ハラスメント防止研修の実施回数(新任係長対象・管理職員対象)	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		2回	(2回)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【職員派遣の増員】 令和元年度、2年度ともに愛知県へ3人の職員を派遣した。なお、愛知県以外にも、国の機関へも各年度1人の派遣等を行った。 【政策立案研修】 令和3年度の実施に向けて、実施内容の検討を行った。 【ハラスメント防止研修】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、集合形式で開催できなかったが、図書の配布及びeラーニングによる研修を実施した。
今年度以降の取組予定
【職員派遣の増員】 愛知県への派遣職員数は、令和3、4年度は4人に増員し、令和5年度は3人とする。また、国の機関への派遣等は令和3年度、3名である。 【政策立案研修】 令和3年度から、主に主任・係長級職員を対象に実施する。 【ハラスメント防止研修】 新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、新任係長対象、管理職対象ともに各1回集合研修を実施する。

4. 評価

事業の成果等		
新型コロナウイルス感染症拡大に対応するため、オンラインでの研修を行うことで、職員の資質・能力の向上を図るとともに、政策立案研修の実施に向けた準備を整えることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和2年度から職員派遣の増員及びハラスメント防止研修の実施並びに令和3年度から政策立案研修の実施見込を立てることができ、一定の成果を上げていると評価する。	R3	4
	R4	
	R5	

戦略 10 行財政改革と健全財政の堅持

② 公共施設の安全性・機能向上と総量削減

提案	実施内容
41	新たなモデルエリアの再編整備に向けた調整・検討を行います。

担当：総務部財産管理課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
庁内検討の実施 基本構想等の策定 基本計画等の策定 基本設計等の実施 実施設計等の実施				
—	7.7	7	20.0	58.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新たなモデルエリア(一宮地区)の再編整備	目標	庁内検討	基本構想	基本計画	基本設計	実施設計
	実績	庁内検討	基本構想	(基本構想)		
(参考)一般公共施設の総延べ床面積	目標	491,000㎡	491,000㎡	496,000㎡	494,000㎡	493,500㎡
	実績	496,967㎡	492,549㎡	(492,096㎡)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
庁内検討を終えたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民が参画するワークショップ及び基本構想検討委員会が予定どおり開催できなかったため、基本構想を策定できなかった。
今年度以降の取組予定
令和3年度中に、ワークショップの代わりに施設利用者アンケートを行った上で基本構想を取りまとめ、令和4年度に基本計画の策定、令和5年度に基本設計を行う。

4. 評価

事業の成果等		
再編対象施設の絞り込み、施設整備地の選定、施設再編のパターンの検討等を行い、基本構想案の作成は完了させることができています。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画に遅れが生じている。	R3	2
	R4	
	R5	

